



庄内を潤す水土里の恵み

講座の趣旨

山から海まで豊かな自然の連鎖の中にある庄内で、農地や水資源が農業を支えるだけでなく、生活に密着した環境要素として果たす役割について、水土環境科学コースにおける研究を通して考えます。

月 日	回	内 容 (講 師)
6月 4日 (土)	1	水が結ぶ生活環境と農・畜・水産業 (渡部 徹)
	2	庄内平野の農業用水と雪 - 地球温暖化による影響は? - (藤井秀人)
6月11日 (土)	3	リンから見た水田の世界 (花山 奨)
	4	庄内砂丘地に発生した長期湛水(2011年夏~秋)を考える (安中武幸)
6月18日 (土)	5	庄内の水はどこから? - 地下水の起源を探る - (奥山武彦・土原健雄[農研機構])
	6	ため池は今後も必要なのか? - 現状と保全に向けての課題について - (梶原晶彦)
6月25日 (土)	7	サクラムスを繋ぐ庄内の水土里 (渡邊一哉)
	8	現在の汚水処理で充分か? - 赤川と森林とわたしたちの生活の密接な関係 - (石川雅也)

受講料
無料

会 場 山形大学農学部講義室
(鶴岡市若葉町1-23)

時 間 各日13時~16時10分

対象・定員 一般の方60名(申込み順)

申込み期間 平成28年4月25日~
5月31日

申込み・問合せ先 山形大学農学部企画広報室
TEL: 0235-28-2911 FAX: 0235-28-2836
E-mail: nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

